

プレスリリース（※ドイツにて 2021/10/21 に配信された和訳版）

Miele、ザルツギッター社のグリーンスチールを採用

- ▶ 低CO₂鋼材をオープン製品に初めて使用
- ▶ カーボンフットプリント削減に向けたザルツギッター社との緊密な協力

ドイツ・ギュータースロー／ザルツギッター発、2021年10月21日 – 世界をリードするプレミアム家電メーカーMiele は、カーボンフットプリント削減に向けてザルツギッター社のグリーンスチールを採用しました。11月以降、家電製品グループはパイロットプロジェクトの一環として、毎月24トン弱の低CO₂鋼材を調達し、直径60cmのすべてのオープン製品に使用する予定です。この材料は、気候に優しいエネルギー源の利用と鉄鋼スクラップの再利用により、製造工程から発生するCO₂排出量を66%以上削減します。この変更の導入により、Miele は購入した製品・サービスからの排出量（スコープ3.1）のさらなる削減に初めて貢献し、意欲的なサステナビリティ目標の達成に向けて重要な一歩を踏み出します。

Miele は、自社の燃焼工程（スコープ1）と電力供給サプライヤー（スコープ2）からの温室効果ガス排出に関して、すべての生産拠点でCO₂ニュートラルな方法で操業する意向を今年すでに発表しました。また、9月初めには、Miele 製品の使用段階からの排出（スコープ3に相当）に関する具体的な目標も発表し、稼働中の全家電製品の総消費電力量について、2030年までに2019年比で15%削減することを目指しています。「その一方で、購入した製品・サービスの最適化に対する選択肢の調査にも集中的に取り組んでいます」と、Miele のテクノロジー担当エグゼクティブディレクターである Dr. Stefan Breit（シュテファン・ブライト）は述べています。これらの排出量は、Miele と関連があるCO₂排出量全体の約13%を占めています。

11月より、Miele はエルデ（Oelde）の工場で生産されるオープン用カバープレートにグリーンスチールを使用する予定です。現在、他のMiele 製品への使用の可能性を見極めるためにテストを実施中です。「ザルツギッター社という、Miele 製品のカーボンフットプリントのさらなる削減の力になる強力で有能なパートナーを得られたことに大変喜んでいますが」と Dr. Stefan Breit（シュテファン・ブライト）は説明します。10月初めに、彼はMiele の調達担当シニアバイスプレジデントである Hans Krug（ハンス・クルーク）と共に、ザルツギッター社を訪問し

て現場を視察し、グリーンスチールを使用して製造された初めてのオーブンの1台を同社に贈呈しました。

低CO₂鋼材は、パイネ（Peine）のミニミル（電炉）で製造され、ザルツギッター（Salzgitter）の圧延工場と亜鉛めっき工場ですらに加工されます。スクラップの熔解に加え、気候と調和したエネルギー源の開発を通じて、亜鉛めっき材料のカーボンフットプリントは、従来の高炉製鉄に比べて66%削減されます。このことは、TÜV SÜD（ドイツの技術認証機関）により、圧延鋼板の各種製造工程に関する2018年のデータに基づいて検証されています。

ザルツギッター・フラッシュシュタール社取締役会長兼ザルツギッター・グループ取締役であるUlrich Grethe（ウーリッヒ・グレーテ）氏は、次のように述べています。「グリーンスチール製品は、さまざまな業界のお客様からますます強い関心を集めています。Mieleは、昔から耐久性の高いプレミアム製品を象徴するブランドです。当社の低CO₂鋼材製品が同社の高い品質基準を満たしたことをうれしく思います」

今後、水素や再生可能エネルギー由来電力により、従来の製鉄に必要であった炭素を完全に置き換え、それによって鉄鋼生産によるCO₂排出量を95%以上削減できるようになると期待されています。ザルツギッター社は、再生可能エネルギー源によると発電と電気分解による水素製造への使用を柱とする変革プロジェクト「Salzgitter Low CO₂ Steelmaking (SALCOS)」により、この意欲的な目標の達成に向けて取り組んでいます。このグリーン水素は、従来の高炉プロセスで現在使用されている炭素を置き換えることを目的としています。

本記事には3枚の写真が付いています



写真1：継続的な協力と Miele の生産工程へのグリーンスチールの導入に期待を寄せる関係者：Hans Krug（ハンス・クルーク、Miele 調達担当シニアバイスプレジデント）、Gunnar Groebler 氏（ガンナー・グロブラー、ザルツギッター社取締役会長）、Dr. Stefan Breit（シュテファン・ブライト、Miele テクノロジー担当エグゼクティブディレクター）、Ulrich Grethe 氏（ウーリッヒ・グレーテ、ザルツギッター・フラッシュシュタール社取締役会長兼ザルツギッター・グループ取締役）、Dr. Sebastian Bross 氏（セバスチャン・ブロス、ザルツギッター・フラッシュシュタール社取締役副会長（販売・流通担当）兼グループ取締役（f.l.t.r.））（写真提供：ザルツギッター社）



写真2：11月より、エルデ（Oelde）工場でオーブンの生産に約24トンの低CO₂鋼材を使用予定（写真提供：Miele）



写真3：ザルツギッター社のグリーンスチールを使用した初めての家電製品の1つであり、ザルツギッター社のショールームに展示される予定のH 7860 BP オーブン（写真提供：ザルツギッター社）

ドイツ本社サイトおよび本社運営ソーシャルメディアアカウント

記事および写真のダウンロード：www.miele-press.com

ソーシャルメディアアカウント：

 @Miele_Press

 @Miele

 @Miele_com

 Miele